

東京23区の投資用中古マンション販売とその管理を手掛ける日本財託はこのほど、投資家を対象に意識調査を実施した。東京五輪開催を4年後に控え、多くの投資家が不動産価格の上昇を見込み、新たな投資を考えていることが分かった。

東京五輪までの4年間

半数以上が「価格上昇」予測

日本財託、投資家調査

「新たな投資用不動産の購入を考えている」と回答した。「購入する予定はない」は38.2%、「売却を考えている」は5.2%だった。

不動産投資市場について気になっていることを尋ねたところ、「不動産価格は高騰したと実感しているが、金利が低い分、月々の収支は変わらない」「不動産投資ブームで始める人が増え競争率が上がり、優良物件が少なくなってきた」「年齢を重ねていくにつれて口

今後4年間のうちに不動産価格が上がると思うかを聞いたところ、56.4%が「上がる」と回答した。一方、「下がる」は9.8%にとどまり、

33.8%が「変わらない」と予測した。

「上がる」と回答した人が多かった。